

精神保健について

厚生委員会資料
令和5年1月28日
品川区保健所
保健予防課／荏原保健センター

1. 精神保健事業について

①こころの健康相談

保健センターの保健師、心理職等が、本人・家族等のこころの健康相談として、訪問・面接・電話による相談を実施するとともに他機関の紹介や情報提供等を行う。

②精神専門医相談（精神保健相談、うつ病あんしん相談等）

うつ病についての理解や治療法、対応について、また精神症状に対する不安やその対応方法について、精神科専門医による相談を実施。各保健センターで実施。

③精神保健講演会

区民を対象にこころの健康づくりやストレス予防の知識の普及や対応方法を学ぶための講座を開催。年1回

令和3年度 コロナ禍のメンタルヘルス ～気づきあおう！心とからだのサイン～

令和4年度 ストレスと上手につき合うためのリラクセス法

～こころとからだのつながり～

令和5年度 更年期から“幸”年期へ ～ライフステージに応じた心と体のトリセツ～

④メンタルチームサポート事業

病状不安定な精神疾患患者等に対し、医療機関、福祉関係機関と連携し、医療の継続支援、病状安定への支援を多職種チームで支援する。

⑤母子保健での支援

ネウボラネットワークにおいて、妊娠期面接相談、すくすく赤ちゃん訪問での産後うつ病評価指標（EPDS）等の活用、産科医療機関との連携による個別支援を実施し、早期発見・早期支援を行う。

2. 自殺対策事業について

■自殺対策計画と区の現状について

区では自殺者数の減少に向けて、「みんなで支えあう いのちの輪」を基本理念とする「品川区自殺対策計画」を令和元年度に策定した。計画に基づき自殺対策に取り組み、誰一人として自殺に追い込まれることのない地域社会づくりを目指している。



<自殺対策計画の数値目標> 年間自殺死亡率を11.5以下にする。

平成25～29年の5年間の平均自殺死亡率16.4を、令和8年までに30%以上減少させる。

<現状（令和4年）>

- ・コロナ禍でも区内自殺者数は減少傾向にあったが、令和4年は増加に転じた。
- ・全国の自殺者数は、男性が13年ぶりに増加し、女性も3年連続で増加した。
- ・区の自殺者数は、30～40代の男性の自殺者数が増加。

■国・東京都の動き

- ・自殺対策基本法に基づき各自治体がそれぞれの地域特性に応じた自殺対策を実施
- ・国は令和4年に新たな自殺総合対策大綱を決定し、都は自殺総合対策計画（第二次）を策定した。

■区自殺対策について

①ゲートキーパー研修 4年度実績

内容	職員向け ①	職員向け ②	教職員向け	保護者向け	支援者 初～中級	支援者 上級
対象	区職員	区職員	教職員	小中学校 保護者	支援者（介護事業者、 民生委員等）	区職員（保健師、 専門職等）
参加者数	23名	18名	46名	106名	15名	11名

別に民生委員約350名、新規採用職員約130名に対しゲートキーパーについて説明実施

②職員向け相談対応マニュアル sosカード、こころの電話帳 こころの健康づくりカレンダー

悩みなどの相談先を周知し、早期に相談につなぎ自殺を防ぐ。

⇒区内小中学校、高校、大学、医療機関、薬局、高齢者施設、中小企業、駅、行政施設等に啓発物を配布。



③自殺企図者、自殺未遂者、自死遺族向け相談支援

◆自殺企図者支援（インターネットゲートキーパー）

検索サイト（Google）で生きづらさに関する単語を検索する自殺企図者に対し、精神保健福祉士等が相談を受け付け、必要に応じて各種相談機関につなぐ。

◆自殺未遂者支援（品川区いのち寄り添いサポート事業）

未遂者による自殺の再企図を防止するため、未遂者自身およびその支援機関等に対し支援等を行う。R4/5年度は小中学生の未遂者およびその保護者を支援。

◆自死遺族支援（品川区わかちあいの会）

自死で身近な人を亡くした方を対象に自死遺族の集いを開催。偶数月の第4金曜日に品川保健センターで開催（年6回）

精神保健について 参考資料

厚生委員会資料
令和5年11月28日
品川区保健所
保健予防課／荏原保健センター

1. 精神保健事業の実績

① こころの健康相談訪問事業

(延件数)

年度	所内相談	家庭訪問	電話相談	関係機関支援・連携	その他の相談
2	1,205	1,488	7,737	5,400	273
3	1,403	1,723	7,157	6,425	89
4	1,272	1,611	7,981	6,720	192

② 令和4年度の相談の診断別分類

(実件数)

診断別分類／年度	実件数(件)／%	認知症	アルコール・薬物依存	統合失調症圏	躁うつ病圏	神経症圏	摂食障害・睡眠障害等	人格障害・ギャンブル依存等	知的障害	心理的発達障害	多動性障害・行為障害・緘黙等	その他	不明
2	1,064	27	60	343	259	65	14	38	28	82	40	28	80
(%)	100	2	6	32	24	6	1	4	2	8	4	3	8
3	1,046	31	57	323	259	83	21	34	21	79	44	17	77
(%)	100	3	5	31	25	8	2	3	2	8	4	2	7
4	1,022	32	54	305	256	84	13	26	32	89	37	38	56
(%)	100	3	5	30	25	8	1	3	3	9	4	4	5

③ 精神科専門医による相談の実施状況

(延件数)

年度	合計	精神保健相談	うつ病 あんしん相談	高齢期のこころの健康相談	児童・思春期のこころの相談
		品川・大井・荏原 月1回	品川・荏原 月1回	品川・大井・荏原 月1回	品川・大井・荏原 月1回
2	205	83		54	68
3	209	87		40	82
4	237	108		48	81

精神保健について 参考資料

2. 品川区の自殺の現状

① 自殺死亡率の推移

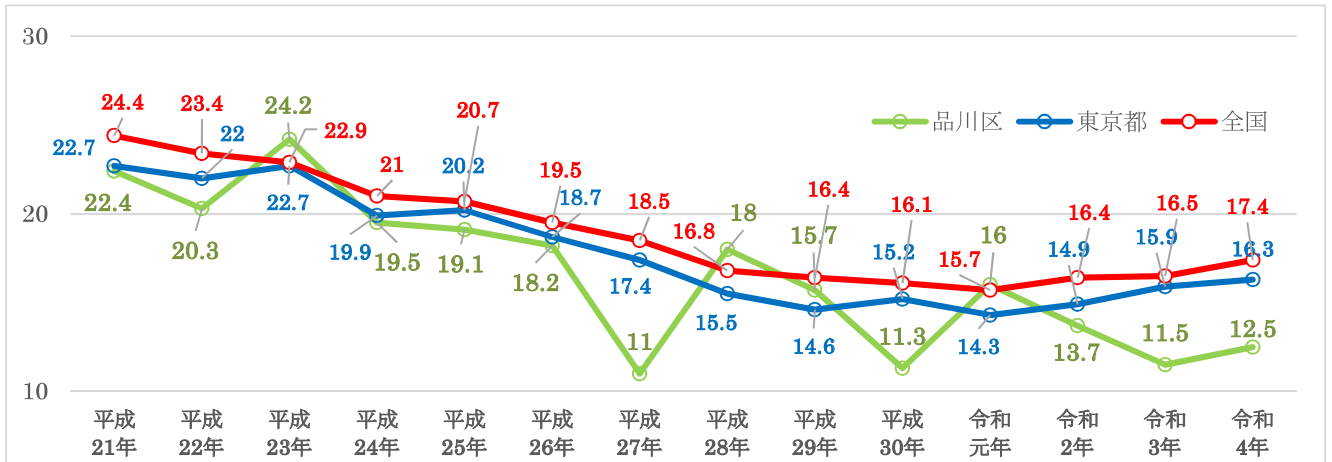
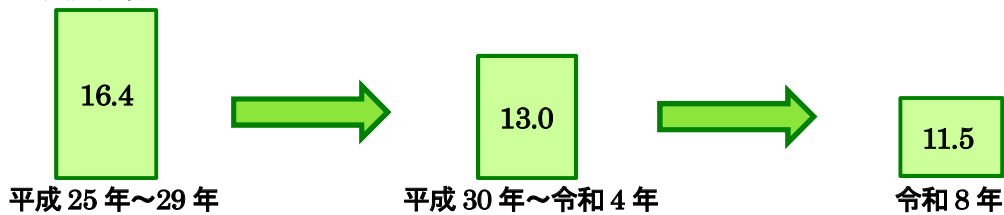


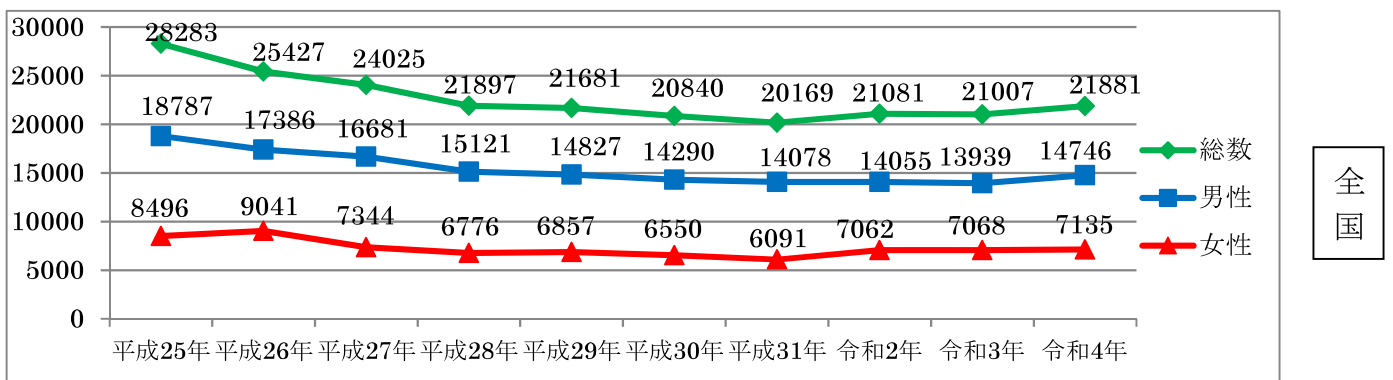
図1 自殺死亡率の推移(人口10万対)

資料：人口動態統計

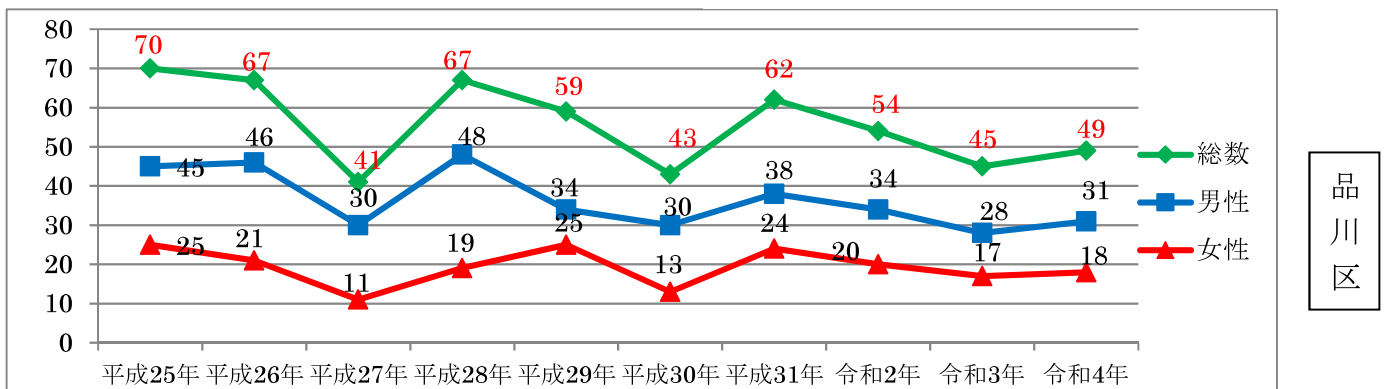
○ 計画の数値目標(平成25~29年:5年間の平均自殺死亡率16.4を、令和8年までに30%以上減少させる)



② 自殺者数の推移



資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成



資料：事務事業概要

③ 性・年齢別自殺者数

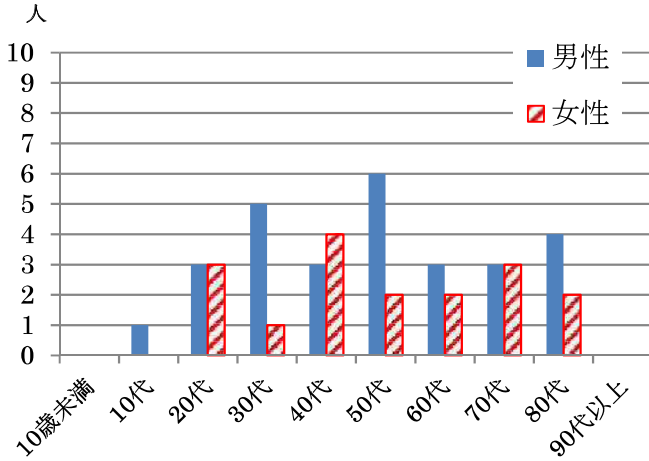


図2 令和3年

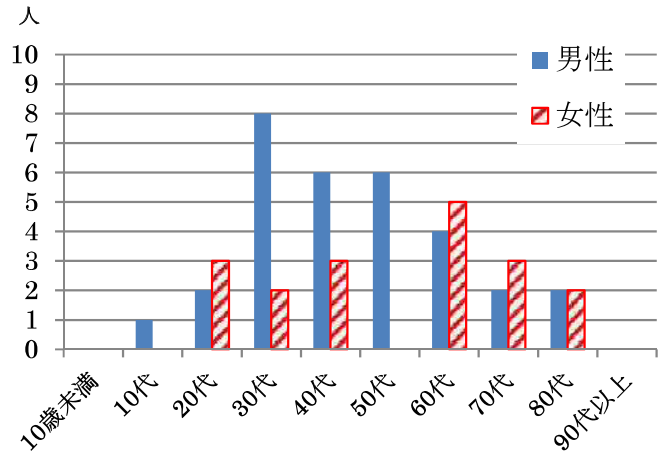


図3 令和4年

資料：事務事業概要

④ 令和4年死因順位

表1 総死亡

資料：事務事業概要

1	悪性新生物	905人
2	心疾患	491人
3	老衰	466人
4	脳血管疾患	193人
5	肺炎	137人
6	不慮の事故 (交通事故 1人)	78人
7	肝疾患及び肝硬変	65人
8	感染症及び寄生虫症	61人
9	腎不全	52人
10	自殺	49人

(令和3年 自殺45人)

表2 年齢階級別死亡

資料：事務事業概要

	10代	20代	30代	40代	50代	60代
1位	自殺 / 心疾患	自殺	自殺	がん	がん	がん
2位		心疾患	がん	自殺	脳疾患	心疾患
3位			心疾患等	脳疾患	心疾患	脳疾患
参考					5位 自殺	5位 自殺

※ 令和3年 10代 自殺1位 30代 自殺1位 50代 自殺5位
 20代 自殺1位 40代 自殺4位 60代 自殺5位